

建設産業委員会

■今定例会の審議結果

審査の結果、議案1件について可決しました。陳情1件については採択しました。

越前加賀インバウンド推進機構について

あわら市、坂井市、永平寺町、石川県加賀市と当勝山市との5市町と各市町の観光団体等で構成する「越前加賀インバウンド推進機構」が設立されました。インバウンドとは訪日外国人旅行のことです。外国向けPR活動としてパンフレット等の多言語化や、地元素材を生かした商品の開発を行います。受入れ体制として広域的な観光案内ができる市民ガイドの育成研修会なども開催を検討しています。委員からの「有料ガイドの導入も必要ではないか」との意見に対して、理事者は「今後検討する」と回答しました。

白山平泉寺ナビゲーターについて

白山平泉寺旧境内の散策は、石畳道の上に坂道であるため、足腰の弱いシニア層や女性層の観光客の方には困難な状況でした。そのため、まずは昨年の秋に試行的に実施して一定の成果を得て、さらに今年のゴールデンウィークにも大門周辺から拝殿および発掘地をガイドと一緒にジャンボタクシーで巡るツアーを組んだところ大変好評で

予算委員会

予算委員会では平成28年度勝山市一般会計補正予算(第2号)について審査し可決しました。

周遊・滞在型観光推進エリア創出プロジェクト事業について

本事業は、複数の市町が連携し、観光地の魅力向上を図るとともに、観光地間や周辺の観光資源を結び付け、また二次交通を充実するなどし、広域的な周遊・滞在型観光エリアを創出し、さらなる誘客や観光資源の拡大などを図ることを目的とした事業です。

県内を5つのエリア(①坂井・あわらエリア②福井・永平寺エリア③奥越エリア④丹南エリア⑤嶺南エリア)に分けて、それぞれのエリア毎にハード事業、ソフト事業を実施します。

勝山市は、ソフト事業では大野市および永平寺町との3自治体をエリアとし、ハード事業では大野市との2自治体が事業のエリアとなっています。ハ

ド事業、ソフト事業ともに事業期間は平成29年度から34年度の6年間ですが、本年度中に計画を策定する必要があり、観光事務諸経費として200万円を補正予算に計上しました。

旧料亭花月楼改修について

理事者側から、旧料亭花月楼の改修補助を本年度行いたい旨説明があり、8,920万円(県4,350万円、市4,570万円)の補正予算が計上され、「用途変更なし、増築をしない、大規模改修でない」ため、「建築確認申請の必要がないので現行法の適用を受けたい。勝山市観光まちづくり株式会社へは、耐震補強の必要はないができる限りの補強措置を施すよう促していく」旨の発言があり、「消防火で義務付けられている自動警報装置、避難誘導灯の改修は行うことになっている」と説明がありました。

委員からは「本建物は市の所有ではないが、改修費用はすべて公金でまかなう建物のため、建築確認申請の必要がなくても、現行法に適合し耐震性能の確保は行うべき」という指

摘がありました。それに対して、「今後、勝山市観光まちづくり株式会社が実施設計を進める中で耐震性の度合いなどを入れ込むように協議したい」と回答がありました。

勝山市観光まちづくり株式会社による花月楼改修後の運営計画について、「営業利益が毎年赤字経営となっているが改善策はあるのか」「赤字経営で事業を進めるのか」との発言に対して、「今後、勝山市観光まちづくり株式会社がより精査した資料の作成を行えるよう協議していく」と回答がありました。花月楼の改修は市民も注目している事業なので、市民に納得していただける補助事業としていただきたいと考えています。

